

議題 『大いに語ろう』—建設業界が抱える問題点—

平成15年6月26日(木) [AM10:00~12:00]
会場/山形グランドホテル

■出席者/山形県建築士会・山形県建築士事務所協会・山形県建築協会・山形県電気工事協同組合・山形県電業協会・山形県管工事業協同組合・山形県空調衛生工事業組合・建設新聞社



がんばっている人！
紹介します。

今号は「Atom創刊に向けてがんばっている人」協会広報委員を紹介します。



広報委員長
市村 清勝
株式会社市村工務店

思いがけず……

総務委員長になってしまいました。性格は明るい方だと思っていますが、書類の整理はとても苦手。いつも会社の中では探し物をしています。そういう意味では「1番引き受けてはいけない役職を引き受けてしまった」と後悔しているところ……。委員会メンバーのバックアップをしっかり期待し、自分もトレーニング頑張ります！



広報委員
本間 伸一
本間建設株式会社 専務取締役

協会設立から3カ月、驚いています。

多くの方が身近に思っている業界に関わる問題。その諸問題に対して、責任を伴う明確なアピールを行っている協会の姿勢。ここまで本気であるとは思いませんでした。これからも「行動する協会」であり続ける為に、微力ながらお手伝いできたらと考えてます。



広報委員
狩野 一康
狩野工務店 代表

アトム……

建築の未来を信じたい！

会員の皆様のパワーをいただき、建築のおもしろさを次代につなげたい！

ゆくぞ、アトム、
ジェットのかぎり……♪



広報委員
堀 健一
有限会社丸与建設 取締役部長

山形県建築協会の一会員となり、建築に携わる一人として、常に高い意識をもちながら会員の皆様と共に、数多くの交流を重ねて建築協会の活動に参加していければと思っております。宜しくお願い致します。



広報委員
笹原 一浩
有限会社笹原建築

山形県建築協会の立ち上げにあたりご尽力頂いた多くの方々にお礼を述べたいと思います。

また、本来の建築の姿に立ち返り、地域社会に貢献でき、より豊かな生活のために広い視野を持ってこれからも建築協会の一員として頑張っていきたいと思っております。

山形県
建築
協会

(社)全国中小建設業協会 加盟
会員募集

常時会員を募集していますので、ご入会ご希望社は事務局までご連絡下さい。

山形県建築協会事務局
山形市城北町一丁目12番26号(山形建築会館内)
TEL023-647-6131 FAX023-645-0855

編集
後記



『Atom』(あとむ)

『Atom』は「architecture=建築」と「tomorrow=明日・未来」を組み合わせた造語です。

折しも今年、あのアトム誕生年。半世紀も以前に世に出、今なお愛され続けるアトムの姿は、世紀を超えて人々にぬくもりを提供する様々な建築物と重なるものがあります。本誌も、アトムにあやかり世紀を超えて愛され、活用される広報誌であり続けたいとの願いをこめて、このネーミングといたしました。



山形県
建築
協会

創刊号

2003.6.夏
vol.1

世界に冠たる日本建築の復興—。

それが私たちの使命です。



山形県建築協会会長
市村 健一

このたび、県内で建築を主体とした建設業者が、大同団結して自らの手でこの改革に取り組もうと、ここに山形県建築協会を設立しました。

今、建築業界を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。高度経済成長に慣れきった体質を根本的に見直さなければならぬ時です。そこで、当面大きな課題として取り上げられるものは、

- ①道義の高揚、業界を取り巻くイメージアップとモラルの確立
- ②受注に関する入札制度の在り方と品質管理の問題
- ③経営改革の諸問題
- ④自然破壊、建設廃棄物の処理及びリサイクルの問題、クリーンエネルギーの採用

以上のような観点に立ってわれわれは共存共栄の精神にのっとり、時代の変化に即応した運営をしまいたいと考えております。関係各位の皆様にはよろしくご指導、ご協力を心からお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。





山形県知事
高橋和雄

山形県建築協会の設立を祝して

山形県建築協会が設立されるにあたり、一言ご祝辞を申し上げます。

バブル崩壊以来、日本経済のみならず県内経済も停滞が長引き、建築業界を取り巻く状況も依然厳しい環境下にあります。

一方、建設副産物のリサイクルやシックハウスなどの環境問題、少子高齢化に向けたバリアフリー化等の人にやさしいまちづくり、さらには、地震や火災等の災害に強いまちづくり等、社会的ニーズは多様化し、行政や建築業界における課題は山積しているものと考えられます。

このような中で、建築業を主体とする皆様方が結集し、技術の研鑽と経営の合理化等の共通課題を通じ、健全な発展を図ることは誠に意義深いものがあり、地域社会に貢献されることを大いに期待するものであります。

さて、建築物は生活を営む基盤であり、道路や公園等の公共施設と連携して街や都市を造り、地域社会を形成していくものであります。

言うまでもなく、21世紀の成熟型社会においては、ゆとりと潤いのある豊かな生活空間が求められ、公共施設のみならず民間の建築物においても街づくりの観点から整備を進めていくことが重要であると考えられます。

また、近年における社会・経済情勢に対応し公共事業をめぐる状況も大きく変化しております。

本県では入札制度の一層の透明性、公平性及び競争性の確保を図るため、ここ数年一般競争入札の適用範囲拡大、入札に関する情報公開を進めてきました。15年度は電子入札の一部実施も予定しているところであります。

本県といたしましても、潤いと活力ある地域づくりの実現に向けて努力する所存でございますので、県行政に対する一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、新たに設立された山形県建築協会の大きなご発展と会員の皆様のご活躍を祈念し、祝辞といたします。



社団法人山形県建築士会
会長

平吹和之

山形県建築協会の発足を祝して

この度、建築業を営む50社に及ぶ各社が相集い、新しい組織としての、「山形県建築協会」を取って発足させたことに対し、(社)山形県建築士会としてもその気概に深く感銘しているところです。

特に、現下は厳しい社会状況の中にあり、新しい組織としての船出は幾多の困難等も予想されますが、豊かな人生経験と得意とする建築分野に熟知されている方々の組織体であれば、会の運営・維持には会員一同が万難を排して取り組むことも容易に推察でき、貴会の繁栄は約束されたものも同然と思います。

貴会及び建築士会が業務としているその根底にあるものは、住民が安全で、快適な生活を送ることができる「住みよいまちづくり」の構築であり、また、それが使命ではないかと思っております。現在、それらに関する人々の要望は複雑多岐にわたると共に増加の一途にあり、我々が担う責務もますます重いものとなってきております。

当会としてもそれらの要望に応えるためには、建築

に関する諸々についての研鑽及び参考となる資料や情報の収集も欠かせませんが、かかる時に建築士の集まりである当会とは、表裏一体の関係にある貴会の発足は、正に干天の慈雨と言ふべきものであり、今後は密接に連絡を取り合うなどして、種々の意見交換などを交わしながら、専門分野の先駆者としてのご指導も頂けるものと期待しております。

世相は、未だ混沌とした状況の中ではありますが、貴会はその存在と蓄積された知識を如何なく発揮され、当会に限らず多くの人々に頼られる協会として、建築界から経済界のリーダーとしても、確固たる地位を築くことを願って、山形県建築協会発足のお祝いの言葉と致します。



山形市長
吉村和夫

山形県建築協会設立を祝して

山形県建築協会設立にあたり、一言お祝いを申し上げます。

さて、我が国を取り巻く情勢は、深刻化する景気、雇用問題、各種構造改革への対応など、大変厳しい課題に直面し、先行き不透明な状況が続いています。

また、県内経済状況は、個人消費、住宅・設備投資、公共事業とも依然として動きが弱く、建築業界にとりましても、誠に厳しい状況に直面しております。

各企業においても、体質の改善と経営の効率化を進めるとともに、今後の業界の改革を方向付けるIT化やISOなどの環境対策等に努力されていることと存じます。

このような中、技術と経営の合理化の研鑽を積み、公共の福祉に寄与することを目的に、建築専門の企業の方々が結束され、「山形県建築協会」を設立されましたことは、大変喜ばしく、意義深いことと存じます。

本市では、「環境先進都市」を目標に、誰もが真の豊かさを実感できるまちづくりを推進してまいりました。

とりわけ本年は、私にとって任期四年目の集大成の年であり、駅西・十日町・七日町などの各土地区画事業を始めとする市街地再開発事業や山形ニュータウン、上下水道の整備など、景気浮揚の効果が期待される施策を積極的に推進するとともに、中長期的視点に立った、広域合併や新清掃工場建設などの大きな事業にも本格的に取り組む所存であります。

このような事業を効果的に実施するためには、市民と行政が知恵を出し合い、一体となって取り組んでいくことが重要であり、特に、社会資本整備の担い手としての実績と専門の知識をお持ちである建築業界の皆様方のお力添えは不可欠でありますので、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、山形県建築協会のご発展と会員の皆様のご健勝とご繁栄を御祈念申し上げ、ごあいさついたします。



社団法人山形県建築士事務所協会
会長

伊藤剛

山形県建築協会発会によせて

この度、山形県建築協会が発立され発足されました事、誠にありがとうございます。設立に向け奔走努力して来られました発起人の方々に敬意を払うところでございます。私共建築士事務所協会としても心より歓迎申し上げます。また、貴協会の使命として「世界に冠たる日本建築の復興」というスローガンを掲げておられますが、その意気込みには大変共感するものがございます。是非そうありたいと念ずるものであります。

日本には、もとより優れた伝統的技術が沢山あります。そして、それらを基に広がる自然な美的感覚を持った豊かな国民性があります。そういうものは絶やすことなく、後人に伝えてゆく責任があるかと思えます。

一方、新工法、新技術の開発もめざましく、色々な条件に応えられる建築工事が可能な現状になって来ていると思えますが、それらを存分に駆使して、質の高い豊かな建築文化の創造を持って社会に貢献していくという目的に向かい、是非がんばって頂きたいと思えます。

長引く景気低迷の中、建設業界にとって本当に厳しい状態が続いているところでございますが、特に「ハコモノ行政」などという言葉に代表されるように、建築に対しては一段と風当たりの強い現状だといえるかと思えます。しかし、建築というものに誇

りを持ちながら、自信を持って、建築と取り組む意義を唱えてゆくことが「復興」に繋がる大切な事だと思えます。もちろん、いらない建築をつくる必要はありません。しかし、人間社会に何かもって貢献できる建築、都市や農村にとって必要とされるインフラ整備中の建築、地震国日本にとって安全で快適な建築のニーズはきっとあるものと考えます。共々知恵を出し合いながら提唱していってみたいと思えます。

設立されて間もない貴協会が、既に積極的に色々な活動を展開されていることは、大変心強く思うところでございます。更に、今後の発展を祈念し、そしてそれが建築の「復興」に繋がらん事を期待し、山形県建築協会の設立によせてのお祝いの言葉と致します。



▲市村会長挨拶

設立総会

去る3月7日(金)、山形市のオーヌマホテルにおいて、当協会の設立総会、発会式、記念講演、祝賀会が、86名の参加のもと行なわれました。午後4時に始まった設立総会では、定款および規則、役員選出、事業計画、予算等が議決され、続いて行われた発会式では、知事および山形市長等から祝辞をいただきました。記念講演は株式会社本間利雄設計事務所の本間利雄所長が演壇に立ち、「建築と人生」について、実に有意義なお話を聴かせていただきました。



▲理事紹介



▲県知事代理・坂之井部長より祝辞



▲山形市長代理・市川助役より祝辞



▲(社)山形県建築士会 平吹会長より祝辞



3月7日の
山形県建築協会設立から
現在までの活動をご紹介します。

平成 15年3月 7日	設立総会	●オーヌマホテル
平成 15年3月 17日	東北建設業協会連合会 奥田会長に挨拶 株式会社建設新聞社 河合社長に挨拶	*市村会長、佐藤副会長同行
平成 15年3月 20日	正副委員長会議	●建築会館
平成 15年4月 1日 15:00	第一回理事会 「設立総会報告」	●建築会館
平成 15年4月 11日	山形市役所訪問 市長に挨拶 建築工事の発注をお願い	*市村会長、佐藤副会長同行
平成 15年4月 22日	第一回総務委員会	
平成 15年4月 23日 15:00	山形県知事訪問 建築課長同席 建築工事の発注のお願い 業界との話し合いの場の設立を申し入れる	*市村会長、佐藤副会長同行
平成 15年4月 23日	第一回調査研究委員会	
平成 15年4月 24日	第一回受注対策委員会	
平成 15年4月 28日	第一回施工委員会	
平成 15年5月 2日 13:30	第二回理事会「有限責任中間法人格取得について」	●建築会館
平成 15年5月 9日 15:00	山形県建築士事務所協会総会参加	●オーヌマホテル
平成 15年5月 11日 11:00	市役所幹部との懇談会についての出席者の決定と 協会としての意見調整	*市村会長、副会長、荻野理事
平成 15年5月 17日 10:00	建設新聞社 取材に対応	*市村会長
平成 15年5月 21日 10:00	市幹部との懇談会「入札制度について」 入札について機会均等、建設省告示の問題	*市村会長、副会長、荻野理事
平成 15年5月 23日 14:00	山形県建築士会総会出席	*相田副会長
平成 15年5月 27日 16:00	山形県鉄構工業会総会出席	●オーヌマホテル
平成 15年5月 28日	全中建若手経営者懇談会	*市村理事、本間理事 ●秋田
平成 15年5月 30日 11:00	第二回受注対策委員会	
平成 15年6月 5日	全国中小建設業協会平成15年度通常総会	*市村会長、佐藤副会長 ●名古屋
平成 15年6月 6日	[内容については次号のお楽しみ!!]	



株式会社建設新聞社 河合社長 東北建設業協会連合会 奥田会長 両氏と懇談

3月17日(月) PM2:00

- 仙台市/宮城県建設産業会館
- 出席者/河合良太郎社長
/奥田和男会長
市村会長・佐藤副会長



▲株式会社建設新聞社・河合社長

当協会設立後間もない3月17日、株式会社建設新聞社・代表取締役社長・河合良太郎氏との面談後、仙台市の宮城県建設産業会館を訪ね、奥田和男会長と業界の諸問題についての懇談いたしました。

- ①協会発足の経緯や活動方針の説明。
- ②山形にはダンピング等、業界の様々な問題点があり、当協会としても正面から取り組み、解決策を探っていききたい。是非アドバイスをいただきたい。
- ③建築業界発展のために努力していくので、ご協力をいただきたい。

東北建設業協会連合会はダンピング防止対策にいち早く取り組み、成果が実りつつあります。奥田会長より「協力できることがあればできる限り協力したい」と力強いエールをいただきました。



▲東北建設業協会・奥田会長と懇談



吉村市長と懇談

4月11日(水) PM1:45

- 山形市役所/市長室
- 出席者/吉村和夫山形市長
市村会長・佐藤副会長

市長は大変多忙な中に面接をしていただき、短時間ではありましたが大変有意義な時間を持つことができました。

- ①建築協会設立の趣旨の説明。
- ②地元企業への優先的な発注のお願い。
- ③適正価格の発注についてのご希望と、ダンピング防止について。

市長はこちらの要望並びに業界のこと、景気のこと、すべて熟知されている様子でした。



高橋知事と懇談

4月23日(水) PM3:00

- 県庁/知事室
- 出席者/高橋和雄知事・藤田建築課長
市村会長・佐藤副会長・相田副会長



知事との懇談の席上、次のような事について意見を交換し、要望を申し上げました。

- ①業界は非常な沈滞ムードであるため、必要な建築事業は出来るだけ速やかに発注をして、景気回復の糸口をつくっていただきたい。
- ②積極的に業界の生の話を同じレベルで懇談する機会を積極的につくっていただきたい。
- ③企業の内部告発や無記名の投書を歓迎する風潮が見られるが、それらに対しても冷静な対処をしていただきたい。我々も、道義の高揚については最大の努力を致します。

知事は終始和やかに面接され、善処することを約束していただきました。



